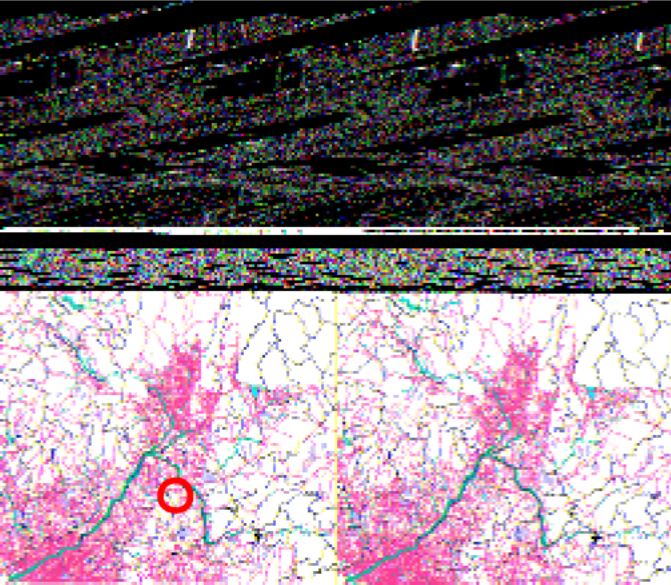


説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.13	行	25行目
事業名	淀川高規格堤防整備事業		河川名	淀川本川		
府 県	大阪府	市町村	守口市		地先	大庭

●現状の課題  
 破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

●河川整備の方針  
 ①高規格堤防化  
 まちづくりと一体となった整備の調整が図られた箇所を実施する。

●位置図

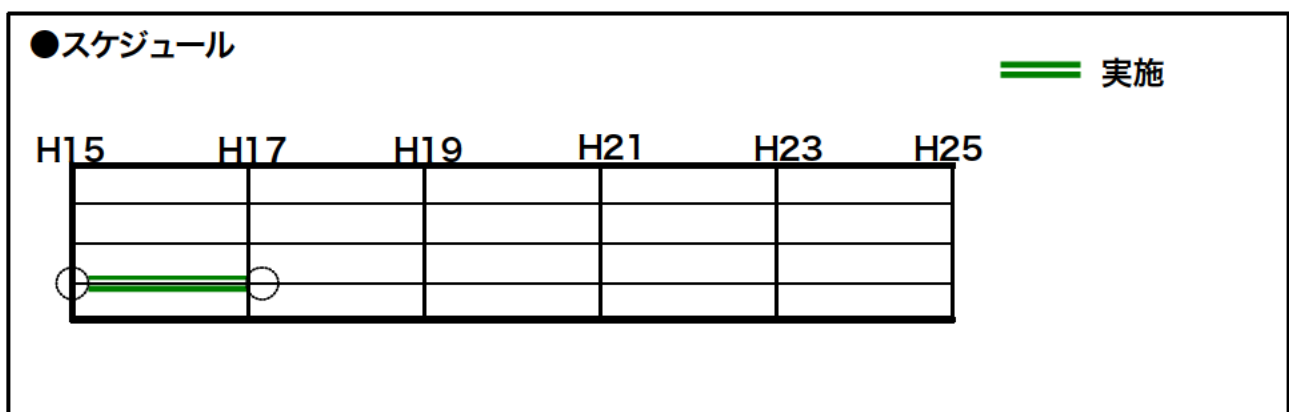


●具体的な整備内容  
 高規格堤防化  
 まちづくりと調整済みである大庭地区を実施

事業の数量 諸元等  
 浄水場改築と一体的に整備)  
 延長 85m 面積1.8ha  
 盛土 4万m<sup>3</sup>

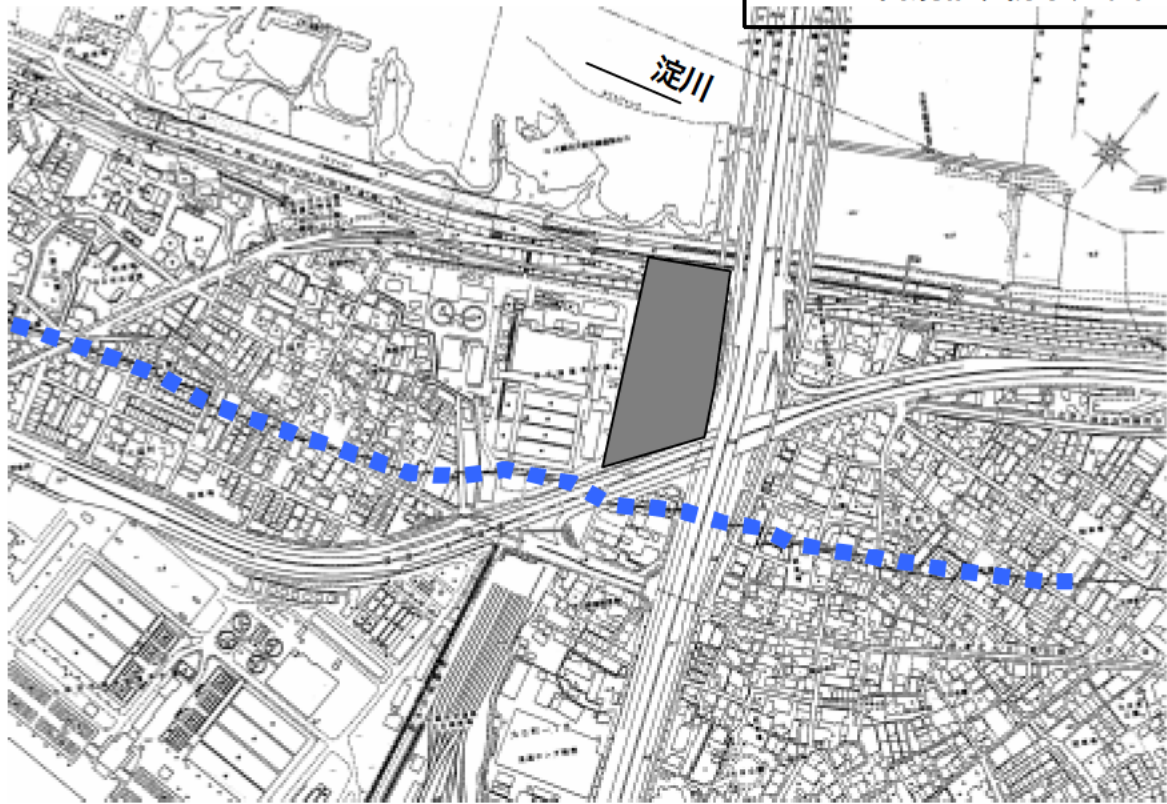
・㊤整備計画期間内の数量 諸元等  
 盛土 4万m<sup>3</sup>

●事業費  
 全体事業費 約 5億円  
 ・㊤整備計画期間内事業費 約 5億円

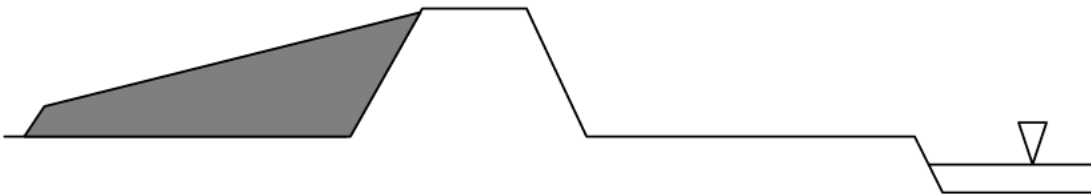


●平面図

■■■ 高規格堤防予定範囲



●横断面図





説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.13	行	25行目
事業名	淀川高規格堤防整備事業		河川名	淀川本川		
府 県	大阪府	市町村	高槻市	地先	津之江	

●現状の課題

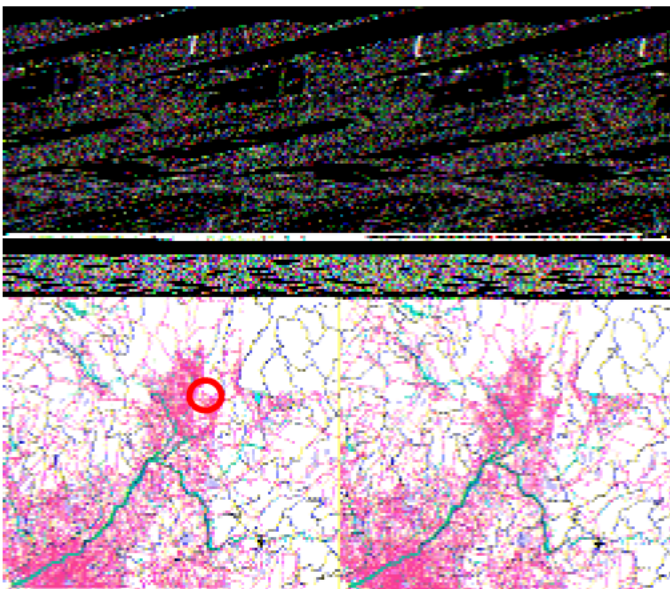
破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

●河川整備の方針

①高規格堤防化

まちづくりと一体となった整備の調整が図られた箇所を実施する。

●位置図



●具体的な整備内容

高規格堤防化

まちづくりと調整済みである津之江地区を実施

事業の数量 諸元等

住宅建替と一体的に整備及び基地の基盤嵩上げ)

延長 450m 面積 3.9ha

1期工事盛土 8万m<sup>3</sup>

2期工事盛土 4万m<sup>3</sup>

・うち整備計画期間内の数量 諸元等

1期工事盛土 8万m<sup>3</sup>

2期工事盛土 4万m<sup>3</sup>

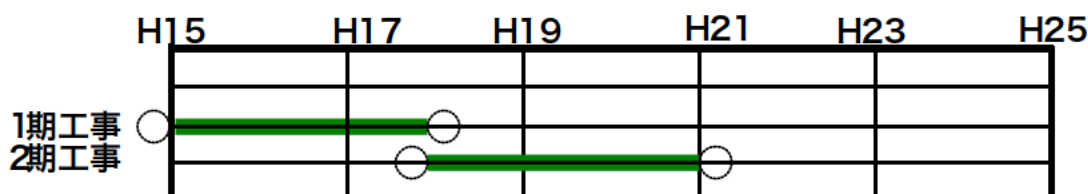
●事業費

全体事業費 約 36億円

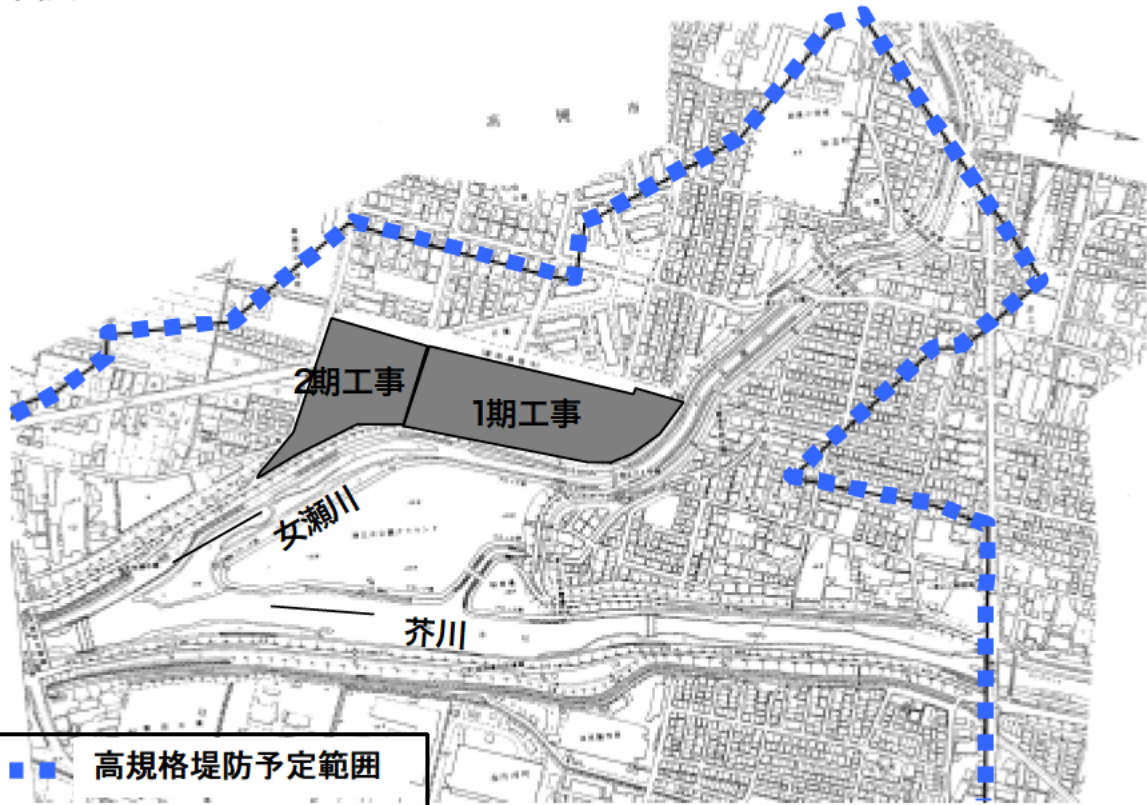
・うち整備計画期間内事業費  
約 35億円

●スケジュール

== 実施



●平面図



●横断面図



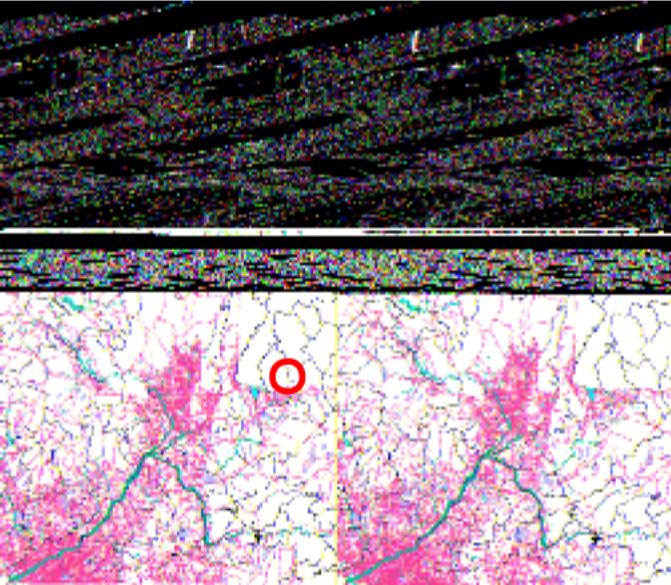


説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.13	行	25行目
事業名	淀川高規格堤防整備事業		河川名	淀川本川		
府 県	大阪府	市町村	枚方市		地先	牧野北町

●現状の課題  
 破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

●河川整備の方針  
 ①高規格堤防化  
 まちづくりと一体となった整備の調整が図られた箇所を実施する。

●位置図

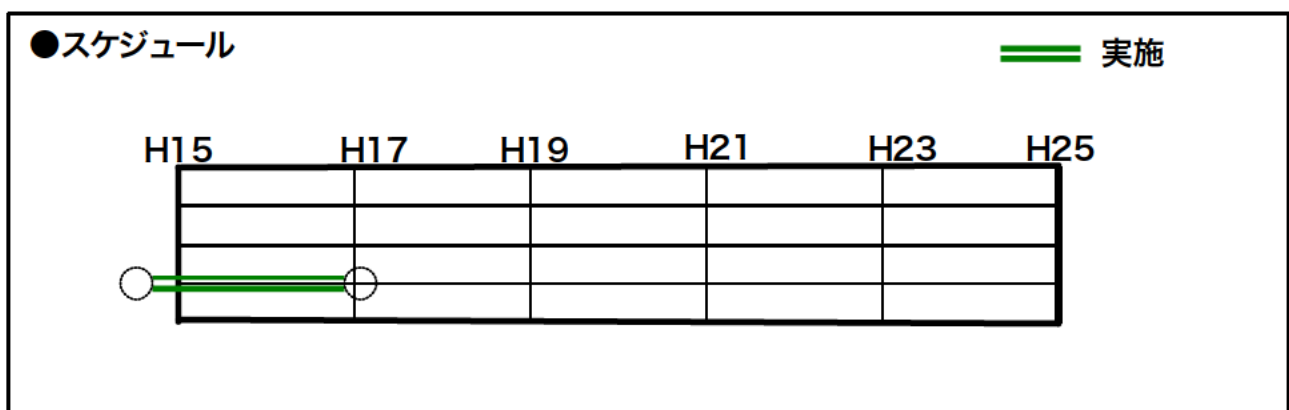


●具体的な整備内容  
 高規格堤防化  
 まちづくりと調整済みである牧野北地区を実施

事業の数量 諸元等  
 (小学校跡地整備と一体となった整備)  
 延長 250m 面積 2.4ha  
 盛土 8万m<sup>3</sup>

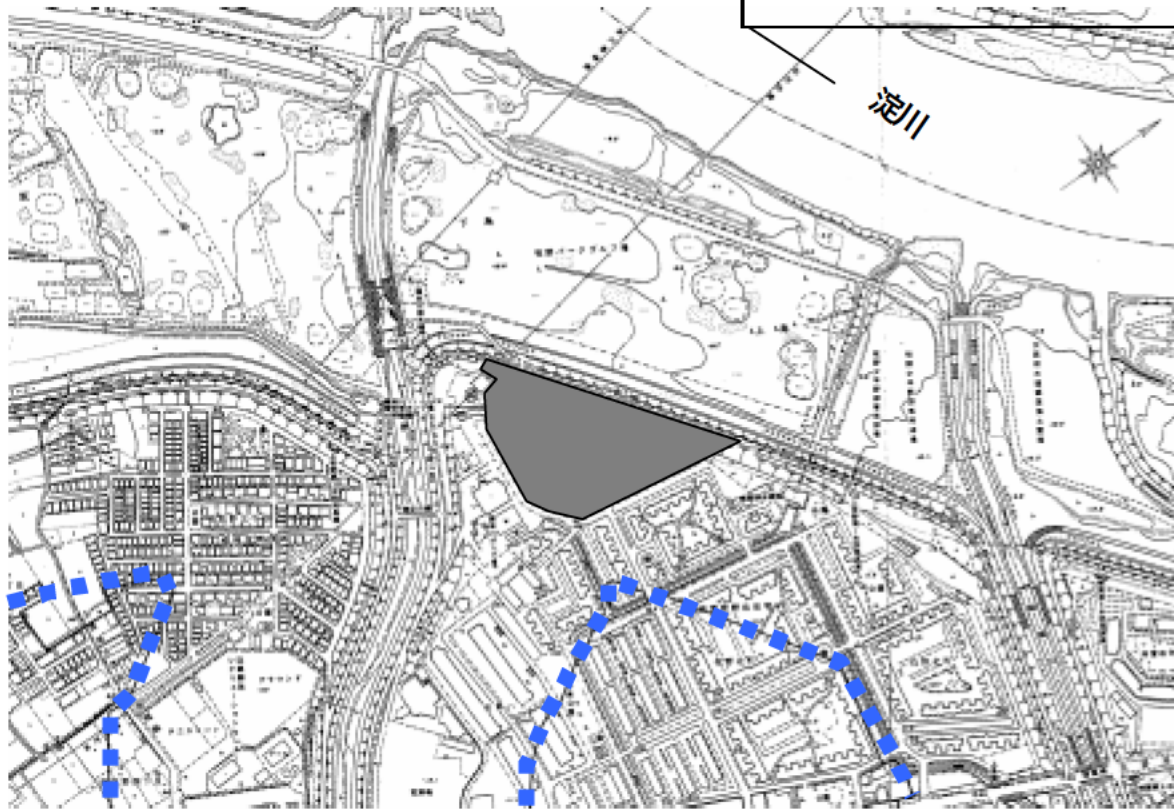
・右整備計画期間内の数量 諸元等  
 盛土 8万m<sup>3</sup>

●事業費  
 全体事業費 約 9億円  
 ・右整備計画期間内事業費 約 8億円

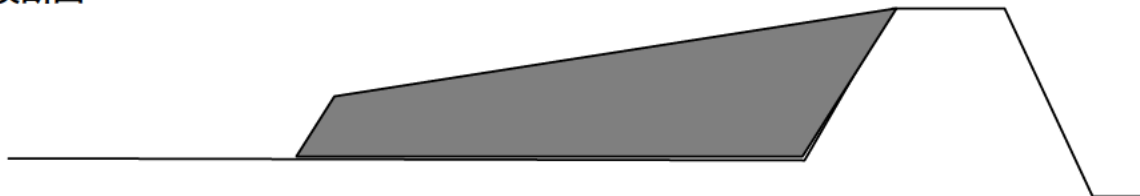


●平面図

■■■ 高規格堤防予定範囲



●横断面図





説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.13	行	25行目
事業名	淀川高規格堤防整備事業		河川名	淀川本川		
府 県	大阪府	市町村	大阪市、守口市、寝屋川市		地先	淀川下流左岸区間

●現状の課題  
 破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

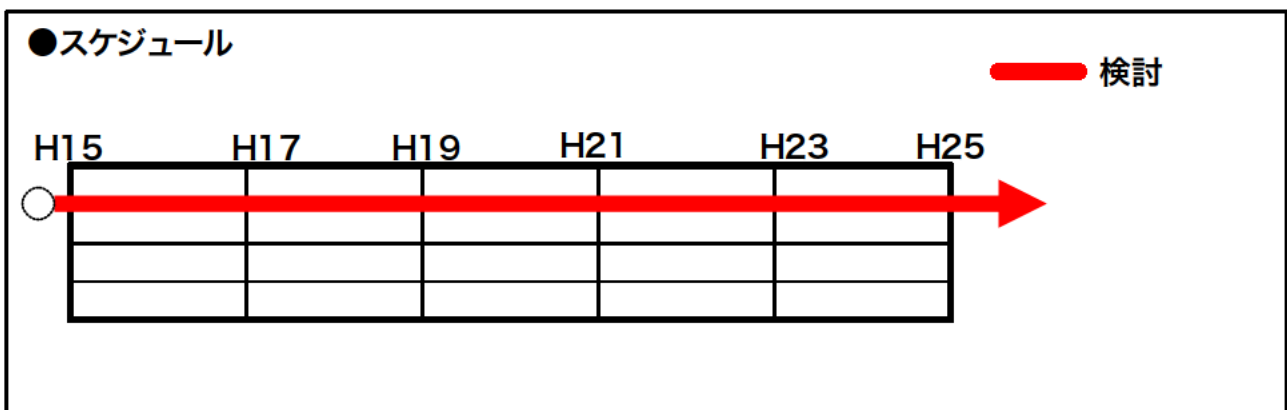
●河川整備の方針  
 ①高規格堤防化  
 まちづくりと一体となった整備の調整が図られた箇所を実施する。特に、人口と資産が集積する、淀川と大和川に挟まれた大阪(浪花氾濫地区)の中枢部の防御を重点的に実施する。

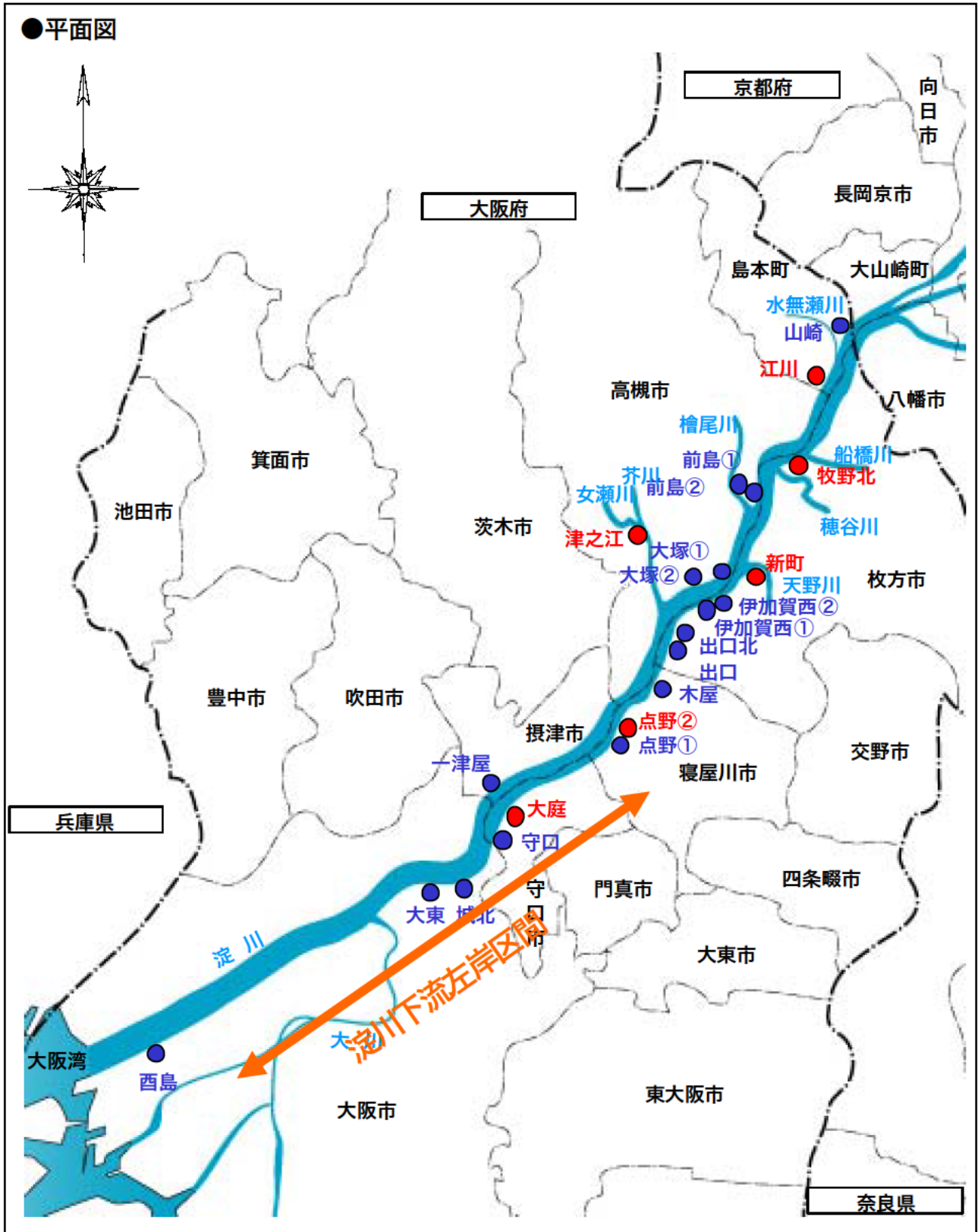
●位置図

●具体的な整備内容  
 高規格堤防化  
 淀川下流左岸区間を重点的に実施

事業の数量 諸元等  
 延長約 17km

・つち整備計画期間内の数量 諸元等  
 延長約 17km







説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.14	行	2行目
事業名	応急的堤防強化		河川名	淀川		
府 県	大阪府	市町村	沿川市町		地先	—

●現状の課題

現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

●河川整備の方針

②応急的な堤防強化

破堤の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえ、応急的な堤防強化を実施。

その際、被害の分散化、上下流バランス、投資効率を検討。

●位置図



●具体的な整備内容

・応急的堤防強化延長 約66km

●事業の数量 諸元等

浸透対策 L=66km

洗掘対策 L=66km

越水対策 L=66km

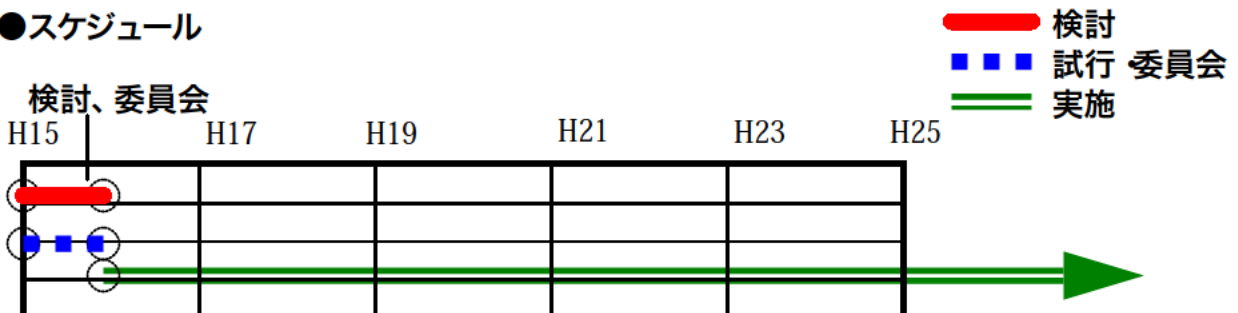
(対策延長 重複有り)

●事業費

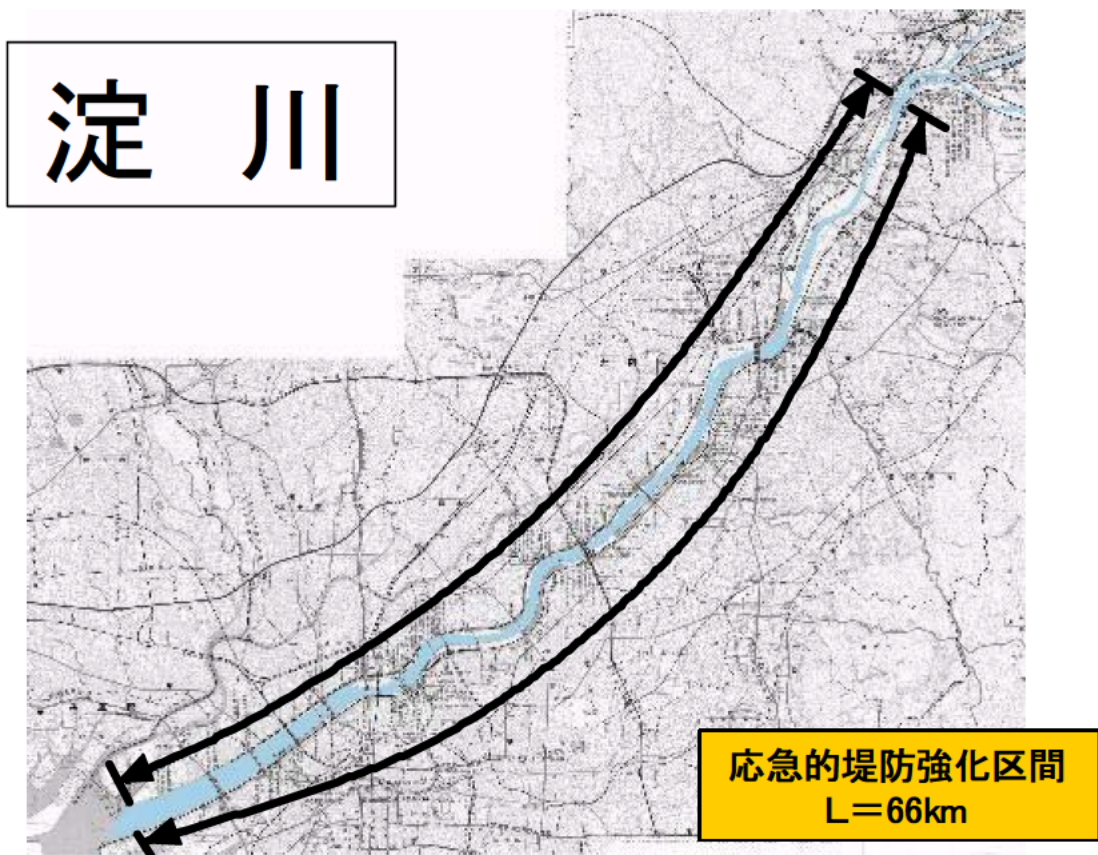
全体事業費 約 2,300億円

・うち整備期間内事業費  
約 2,300億円

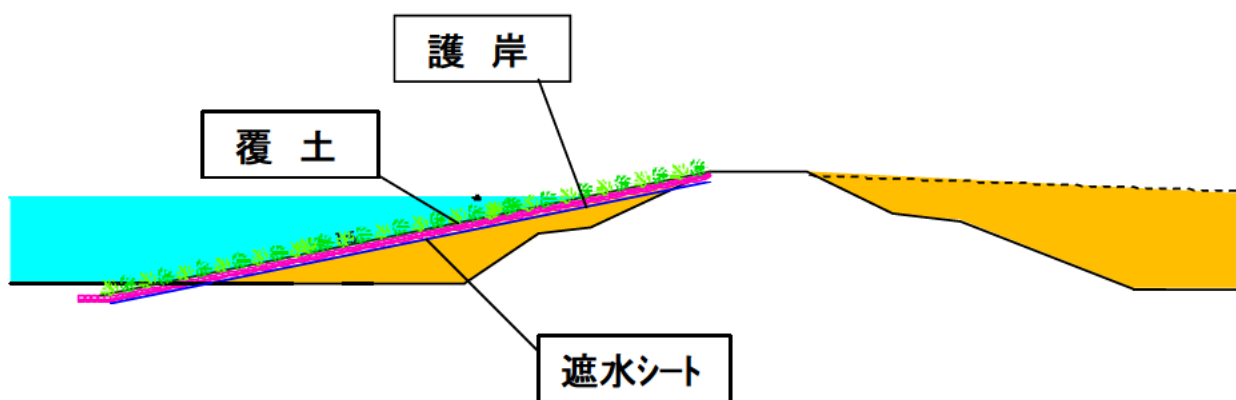
●スケジュール



●平面図



●横断面図



応急的堤防強化対策の一例



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.14	行	4行目
事業名	阪神西大阪線淀川橋梁改築事業		河川名	淀川		
府 県	大阪府	市町村	大阪市	地先	此花区伝法外	

●現状の課題

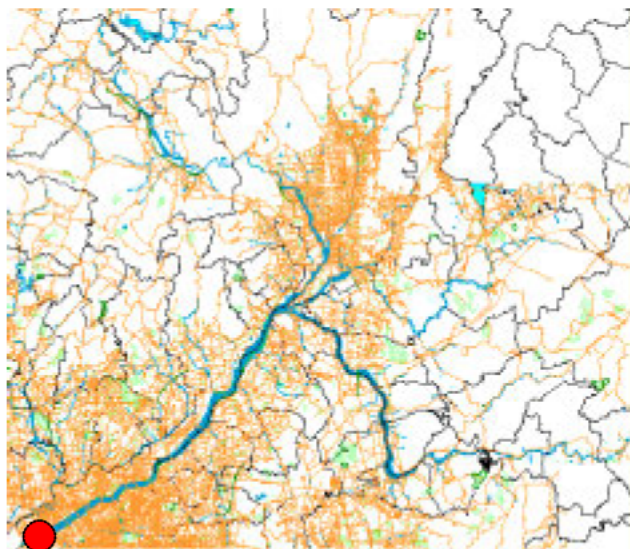
淀川橋梁は桁下高もOP+4.3mと低く  
 流下能力は近傍の河積に比して7割程度し  
 か確保されていない。

また橋梁面もOP+6.3mと現堤防を大幅  
 に下回っており、高潮時は陸閘により対応  
 している。

●河川整備の方針

橋梁取り付け部の整備と周辺の土地利  
 用との調整に多大な時間とコストが必要で  
 あり、堤防強化との優先度を十分に判断し、  
 実施する。

●位置図



事業箇所

●具体的な整備内容

阪神電鉄西大阪線淀川橋梁の  
 改築の実施時期を検討する。

他の同様の橋梁 淀川大橋、  
 伝法大橋)の改築を検討する。

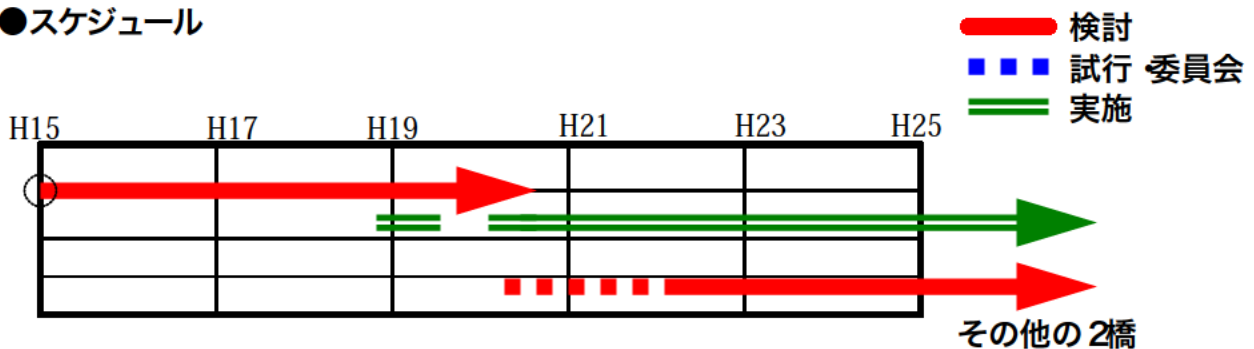
●事業の数量 諸元等

橋梁改築 L= 860m (11径間)  
 陸上取付部改築  
 右岸部 L= 910m  
 左岸部 L= 790m

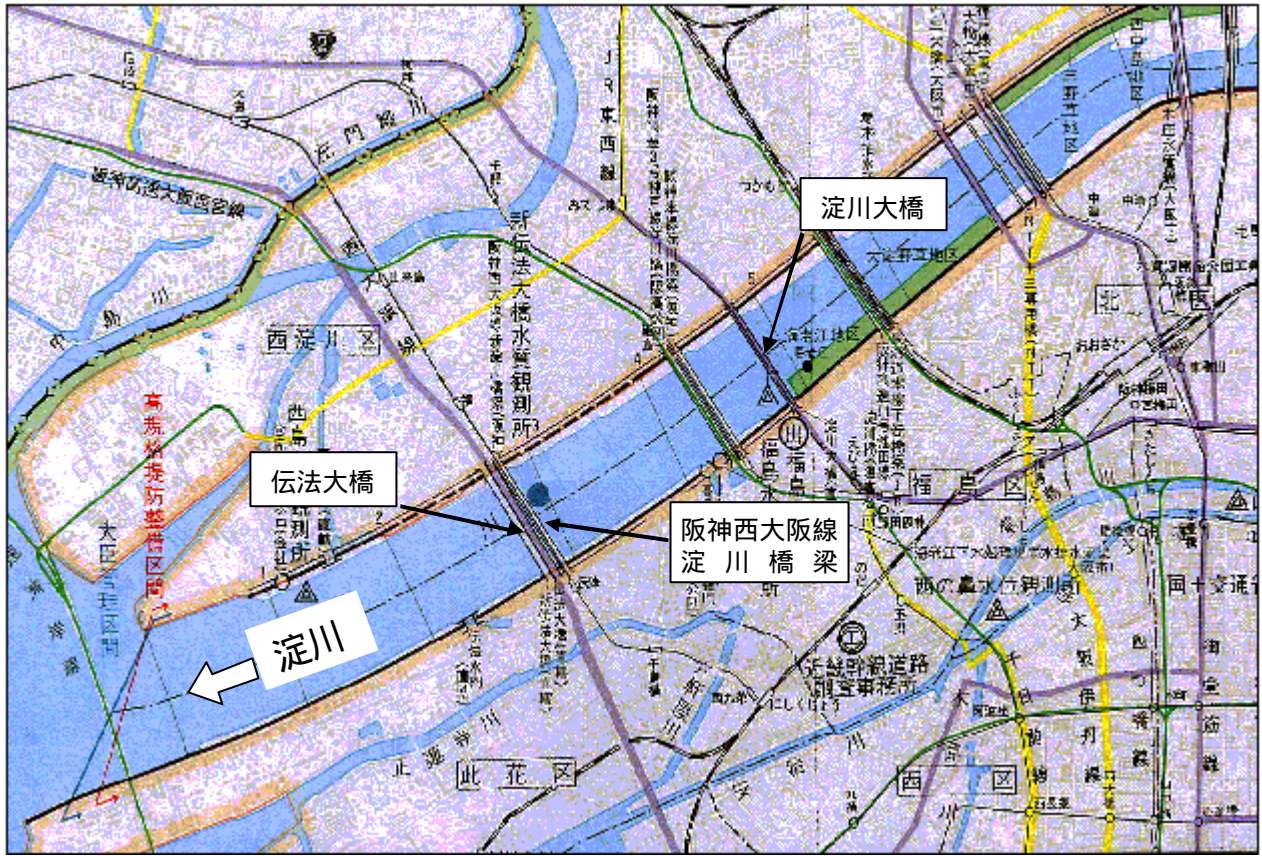
●事業費

全体事業費 約 600億円  
 (但し、阪神西大阪線淀川橋梁のみ)

●スケジュール



位置図

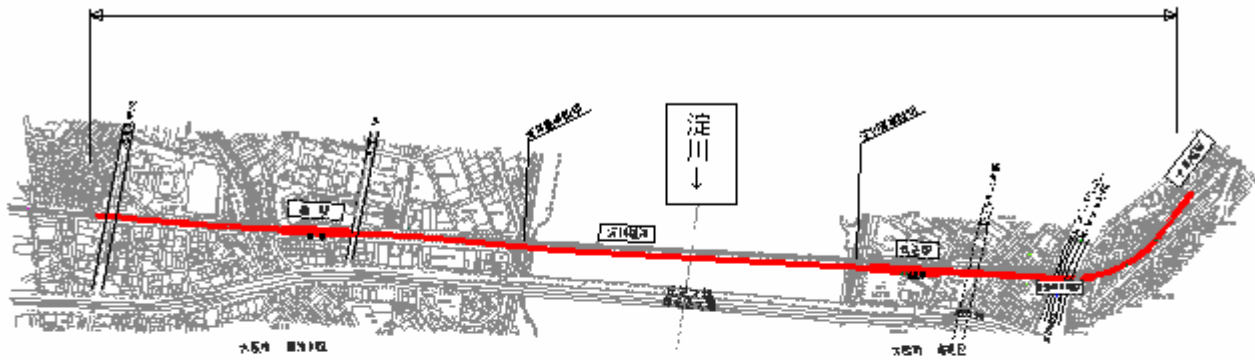


構造図

阪神西大阪線 淀川橋梁

平面図

事業区間 L=2.6 km



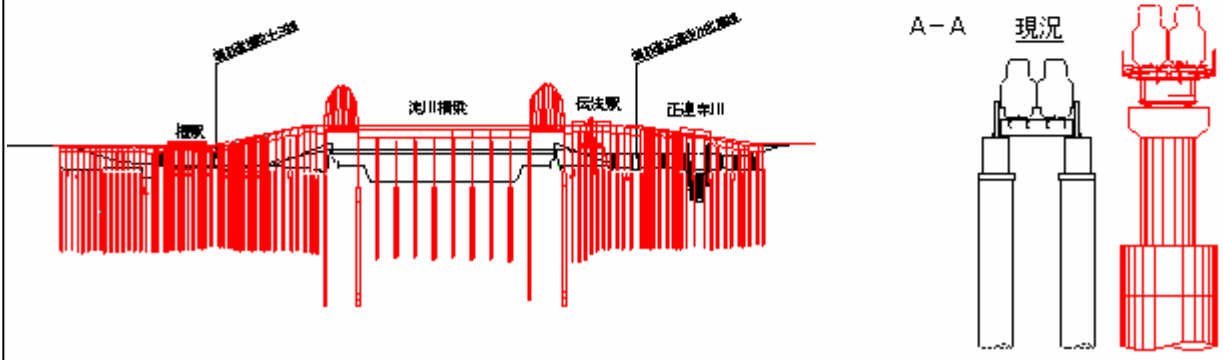
橋梁一般図

断面図

計画

A-A

現況





説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.14	行	9行目
事業名	応急的堤防強化		河川名	宇治川			
府 県	京都府	市町村	-		地先	-	

**現状の課題**  
 現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

**河川整備の方針**  
 応急的な堤防強化  
 破堤の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえ、応急的な堤防強化を実施。  
 その際、被害の分散化、上下流バランス、投資効率を検討。

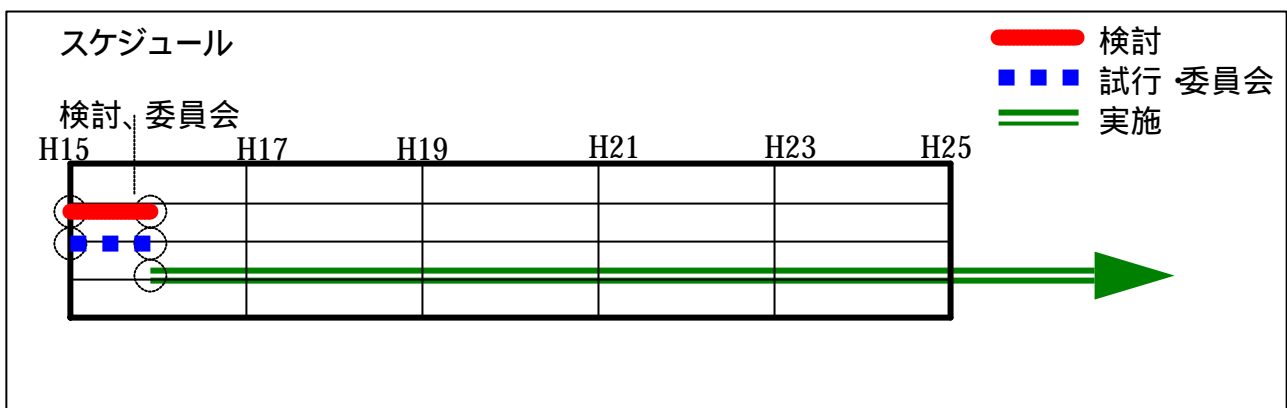
**位置図**



**具体的な整備内容**  
 ・応急的堤防強化延長 約 22km

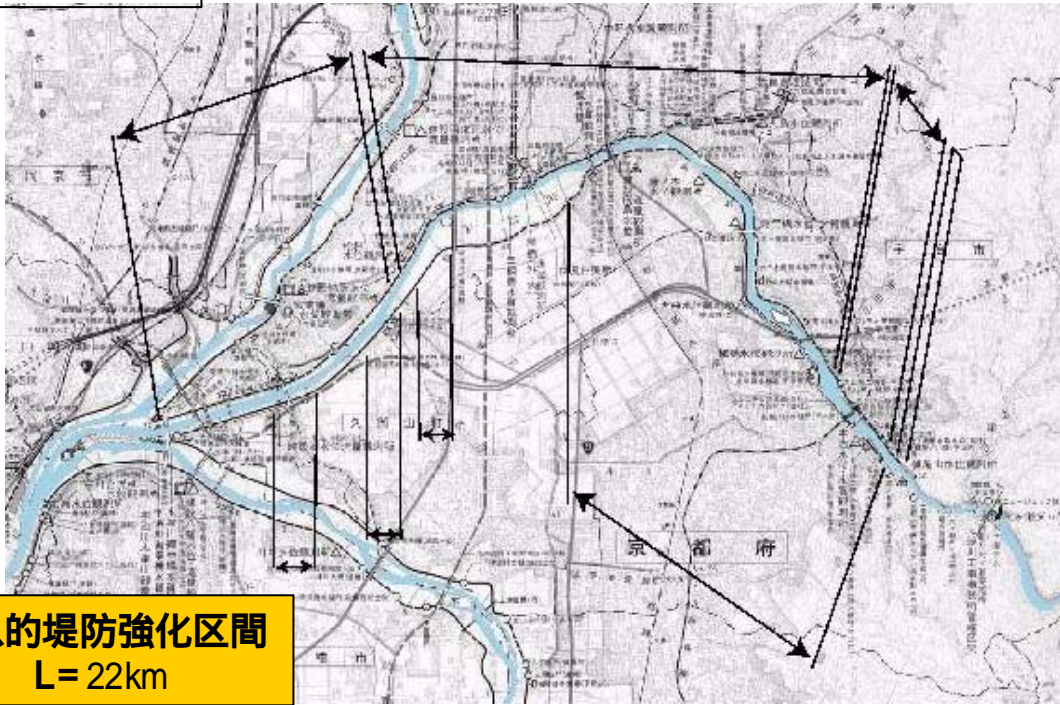
**事業の数量 諸元等**  
 浸透対策 L= 21km  
 洗掘対策 L= 14km  
 越水対策 L= 14km  
 (対策延長 重複有り)

**事業費**  
 全体事業費 約 900億円  
 ・うち整備期間内事業費 約 500億円



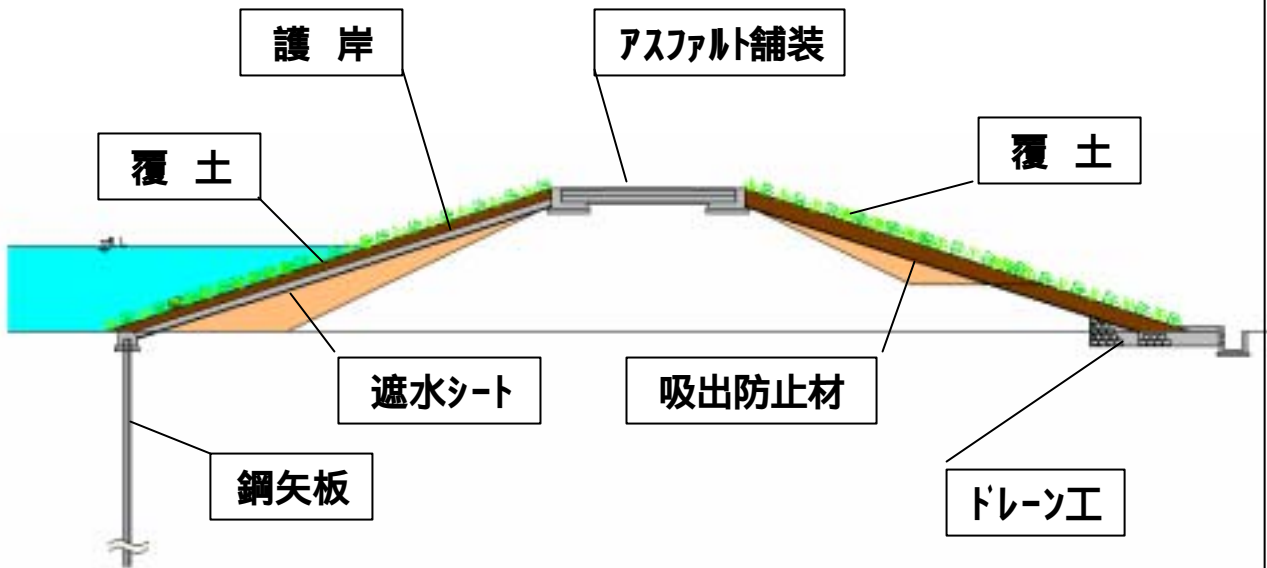
平面図

# 宇治川



応急的堤防強化区間  
L=22km

横断面図



応急的堤防強化対策の一例



説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.14	行	12行目
事業名	塔の島地区河道掘削の実施		河川名	宇治川			
府 県	京都府	市町村	宇治市		地先	塔の島地区	

**現状の課題**  
 琵琶湖では、淀川水系の洪水時の特性を活かし、下流の洪水防御のため、瀬田川洗堰からの放流を制限もしくは全閉しているが、瀬田川下流部の流下能力が支障となり、湖周囲では長時間にわたる浸水被害が発生している。

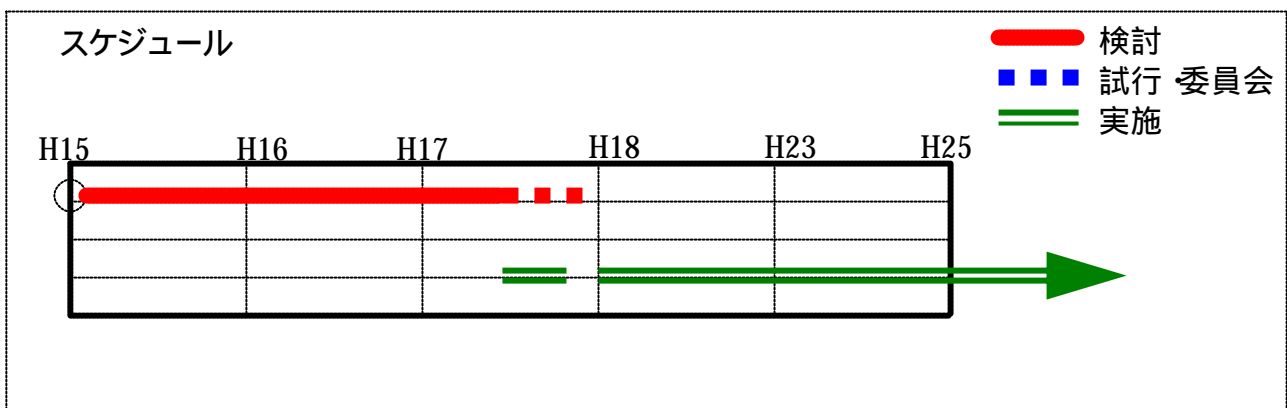
**河川整備の方針**  
 琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減  
 長期にわたる琵琶湖の高水位による浸水被害の軽減を図るため、瀬田川下流部の流下能力の向上を図る。

**位置図**

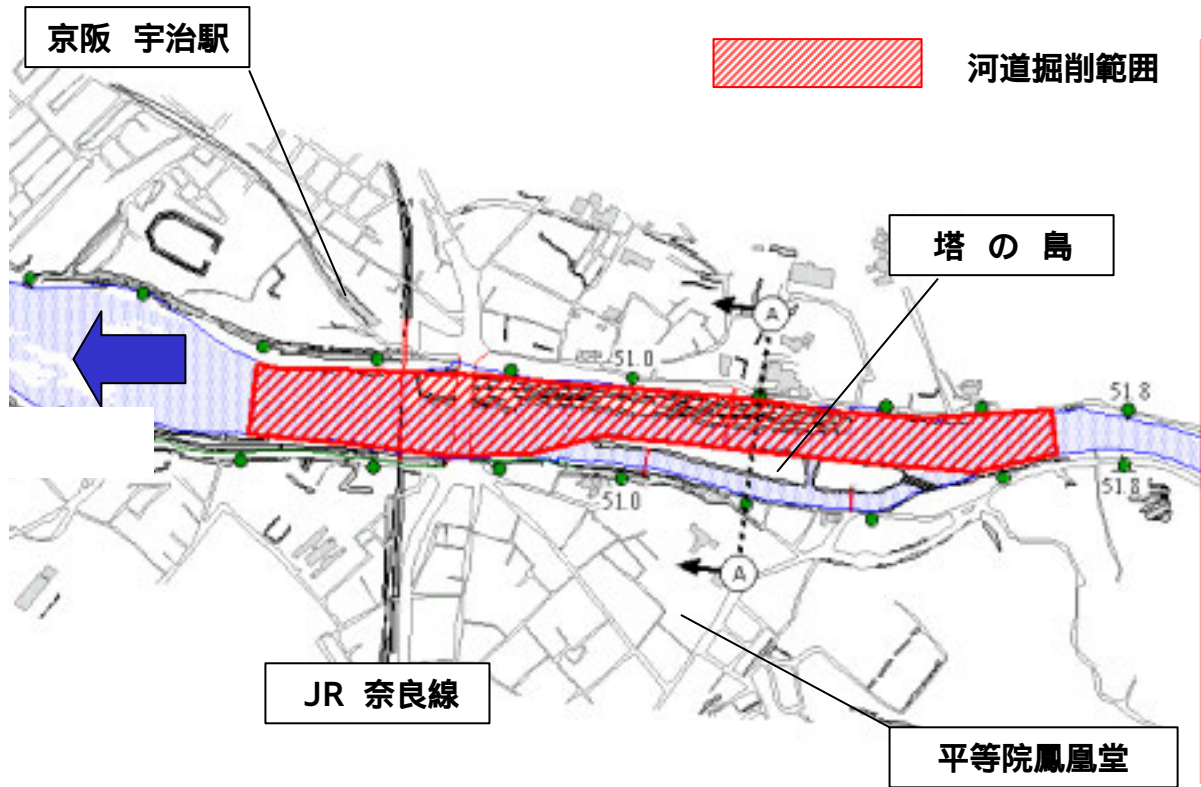
**具体的な整備内容**  
 ・浸水被害の軽減  
 天ヶ瀬ダム再開発見直しの検討結果及び下流の破堤対策の進捗を踏まえて河道掘削を実施

**事業の数量 諸元等**  
 河道掘削  
 掘削土量 約14万m<sup>3</sup>  
 平均掘削高 h=1.1m

**事業費**  
 全体事業費 約 105億円  
 ・うち整備計画期間内事業費 約 14億円

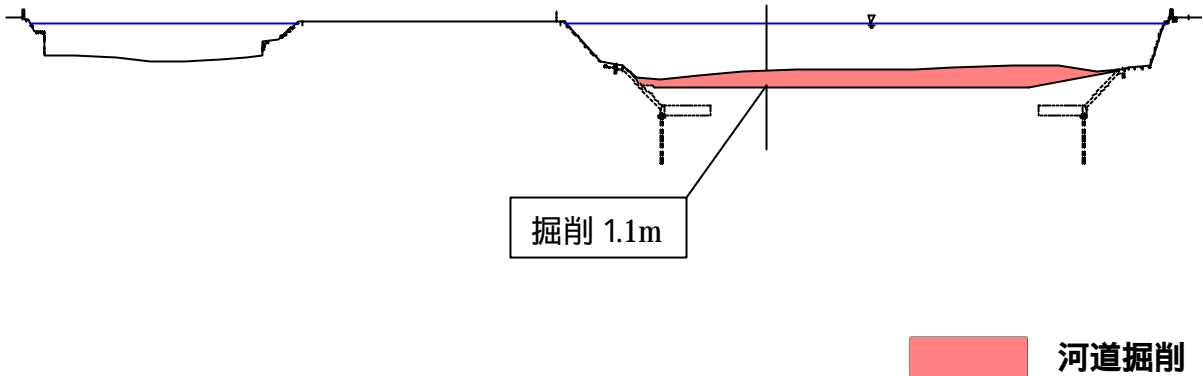


平面図



横断面図

A 断面横断面図  
(51.2kp)





説明資料 (第1稿)での記載箇所	章項目	5.3.1	ページ	p.14	行	14、20行目
事業名	隠元橋架替及び隠元橋付近引堤の継続実施		河川名	宇治川		
府 県	京都府	市町村	宇治市	地先	隠元地区	

**現状の課題**  
 琵琶湖では、淀川水系の洪水時の特性を活かし、下流の洪水防御のため、瀬田川洗堰からの放流を制限もしくは全閉しているが、瀬田川下流部の流下能力が支障となり、湖周囲では長時間にわたる浸水被害が発生している。

**河川整備の方針**  
 無堤地区等の浸水被害の軽減  
 既に一連区間の整備が進められてきており、ごく一部の区間のみが未整備である区間については、速やかに事業完了を図る。

**位置図**

事業箇所

**具体的な整備内容**  
 新隠元橋架替(京都府一体施工)に合わせた引堤を継続実施

**事業の数量 諸元等**  
 橋梁架替  
 引 堤

**事業費**  
 全体事業費 約 87億円  
 ・うち整備計画期間内事業費 約 23億円

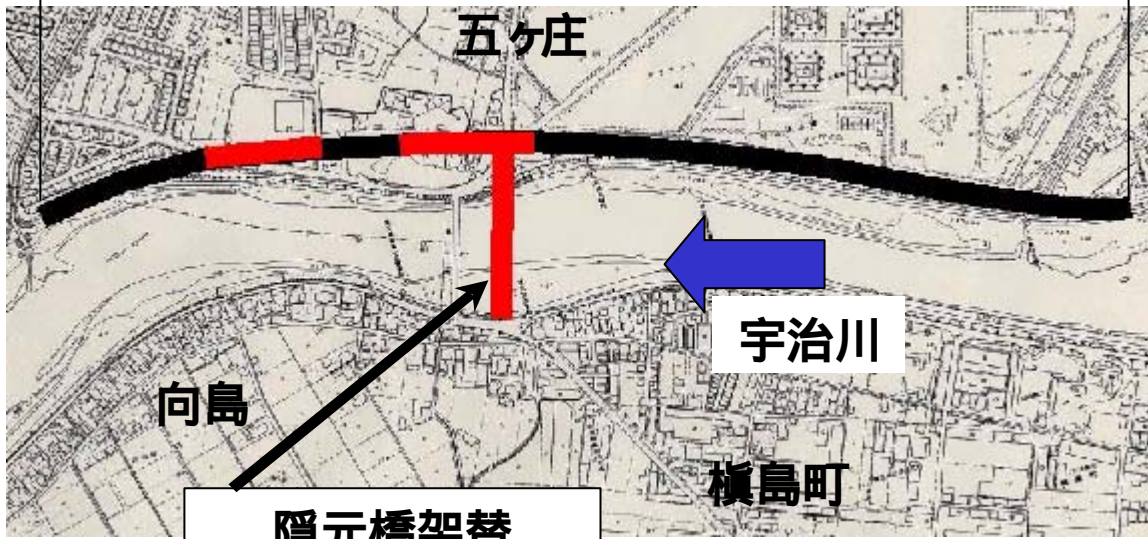
**スケジュール**

H15	H16	H17	H18	H23	H25

■ 検討  
■ 試行委員会  
■ 実施

平面図

引堤区間 L= 1200m



隠元橋架替



横断面図

隠元橋諸元  
橋長 195.5m  
設計速度 60km/h  
4径間連続鋼桁版箱桁橋  
幅員 27.8m

